

# 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	5		学校名	茨城県立日立第二高等学校				課程	全日制		学校長名	増山 弘				
教頭名	佐藤 伸彦			内田 正人						事務室長名	柴田 一久					
教職員数	教諭	47	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	6 (ALT1)	実習教諭	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	66
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	0	240	0	240	0	235	0	0	0	715	18				
	国際科	0	40	0	40	0	33	0	0	0	113	3				
	合計	0	280	0	280	0	268	0	0	0	828	21				

## 2 目指す学校像

創立以来77年に及び女子教育の歴史と伝統を守り、21世紀を、校章の野ばらのごとく、「清らかにつつましく、たくましく美しく」生きていく意欲と感性豊かな人間の育成に努め、生徒一人ひとりの知的、道徳的、芸術的、身体的な能力を最大限に伸ばし、調和のとれた人間形成を図る。  
 本校は、普通科・国際科の2学科を有しており、国際科は県内で最初に設置された学科である。普通科では、進路希望の実現を目指し、国公立大学や難関私大への合格を増加させ、地域社会から一層の信頼を得るようにする。また、国際科では、カリキュラムの検討を加え、しっかりとした英語力を身に付けて、広く国際社会で活躍できる人材を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	理解力に差がある生徒が増えてきた。学習の指導法を工夫改善し、分かりやすい授業を展開する必要がある。	生徒一人ひとりにより分かりやすい授業を展開し、生徒の学力をどのように向上させるか。
進路指導	国公立四年制大学への進学希望者が多いが、その達成率が低い。	生徒一人ひとりの進路実現をどのように推進していくか。
生徒指導	生徒の服装が乱れている。特にスカートの丈が短い。基本的な生活習慣が身に付いていない生徒も見受けられる。	規律ある生活と規範意識の高揚をどのように進めるか。
特別活動	ホームルームや文化部の活動が不活発である。	生徒による自主的なホームルーム運営と文化部の活動をどのように活性化するか。
保健厚生	健康維持・増進がまだ不十分である。身体機能のレベルアップもまだ不十分である。	身体活動時間を確保し、運動を日常生活にどのように採り入れるか。
図書	生徒の読書量が少ない。また、視聴覚室の利用がまだ不十分である。	生徒に読書をどのようにさせるか。また、視聴覚室の利用促進をどのように図るか。
渉外 国際教育	保護者のPTA行事への参加率が低い。 外国人等の交流で、積極的にコミュニケーションをしようとする態度がまだ不十分である。	保護者のPTA行事への関心をどのように高めるか。 積極的なコミュニケーション能力の育成をどのようにして更に推進するか。
情報	まだ不十分な成績処理プログラムについて、その完成度を高めるための取組が必要である。	データ入力で、ミスをどのように無くするか。誰にも分かりやすいプログラムをどのように作成するか。
第1学年	新しい環境に慣れない生徒が見受けられる状況の中で、好ましい人間関係と学習環境を整えることが急務である。	生徒理解を深め、生徒一人ひとりに十分配慮し、個に応じた指導をどのように展開するか。
第2学年	進路に対する意識が不十分であるとともに、家庭学習時間が少なく、服装（特にスカートの丈）に乱れが見られる。	進路意識や学習意欲を高め、規範意識の高揚を図る指導をどのようにすすめるか。

第3学年	進路希望の達成に向けての生徒の意識がまだ不十分である。	生徒の進路希望達成の指導及び最高学年としての学校生活の過ごし方の指導をどのようにするか。
------	-----------------------------	--

#### 4 中期的目標

- 1 学力増進と進路指導の充実・強化を図り、生徒の適性、能力、希望に応じた進路指導の実現に努める。
- 2 基本的な生活習慣を確立し、自立的な態度の育成を図り、意欲的に学習活動に取り組み、自律的にして責任ある生活態度の育成に努める。
- 3 特別活動の振興と心豊かな人間形成を目指し、HR、生徒会、各種委員会の活動をはじめ、生徒の自主的な活動を助長し、活気ある校風の形成を図る。
- 4 国際教育の推進と国際社会に生きる人間形成を目指し、国際理解教育は、各教科教育、特別活動等教育活動全体を通じて、全校的に取り組み、全職員の共通理解のもとに推進する。

#### 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的な目標	達成状況
1年次 平成16年度	<p>個々の生徒の学力の実態に応じたきめ細かな学習指導を行う。</p> <p>基本的な生活習慣を確立し、自立的な態度の育成を図る。</p> <p>積極的に情報を公開し、地域に開かれた特色ある学校づくりに取り組む。</p> <p>学力増進と進路指導の充実を図る。</p>	<p>国際科については、SELHi研究の2年目として、習熟度別の少人数クラスによる授業を実施する。</p> <p>服装・頭髪指導を定期的実施する。また、生徒全員による清掃活動の徹底を図る。</p> <p>学校のHPの改善・充実に取り組み、校内の情報を積極的に外部に発信していく。</p> <p>課外必修クラスの指導の充実を図るとともに、普段の授業はもちろん、課外や生徒面接、土曜日の学校開放等を積極的に行う。</p>	
2年次 平成17年度	<p>個々の生徒の学力の実態に応じたきめ細かな学習指導を行う。</p> <p>基本的な生活習慣を確立し、自立的な態度の育成を図る。</p> <p>学校の教育水準の向上を図るため、教育活動や学校運営の状況について点検・評価を行い、その結果を公表する。</p> <p>学力増進と進路指導の充実を図る。</p>	<p>国際科については、SELHi研究の2年間の成果をまとめ、一層効果的な学習活動を展開する。</p> <p>服装・頭髪指導や全員による清掃活動の徹底を図る。また、野ばら祭(文化祭)の自主的運営を支援する。</p> <p>学校評価の結果を分析し、学校の活性化に向けて普段の教育活動の改善に生かしていく。</p> <p>課外必修クラスの指導の充実を図るとともに、普段の課外や生徒面接、土曜日の学校開放等を積極的に行う。</p>	
3年次 平成18年度	<p>個々の生徒の学力の実態に応じたきめ細かな学習指導を行う。</p> <p>基本的な生活習慣を確立し、自立的な態度の育成を図る。</p> <p>学校の教育水準の向上を図るため、教育活動や学校運営の状況について点検・評価を行いその結果を公表する。</p> <p>学力増進と進路指導の充実を図る。</p>	<p>評価について検討を加え、個に応じたより効果的な指導を展開する。</p> <p>服装・頭髪指導や全員による清掃活動の徹底を図る。また、部活動や委員会活動の活性化を図り、充実した学校生活の過ごし方を指導する。</p> <p>今までの教育活動・学校運営の具体的な項目について、学年会・担任会等で2ヶ月毎に点検し、未達成の項目には対応策を講じる。</p> <p>生徒一人ひとりの進路実現のため、個別面接などのきめの細かい指導を行う。</p>	